

園芸施設共済の加入者様の声をご紹介します！！

PART2

～次の世代に残すために～



キュウリ18a ニガウリ70a 水稻830a
館林市
飯塚 雅実さん

過去にハウスが竜巻の被害を受けたことに加え、昔と比べハウスの再建築にかかる費用が高くなっているのが一の際にハウスを再建することができるか不安でした。そんな中ポスターで制度改正を知り、小損害不填補1万円特約と付保割合追加特約を付けました。高い補償にしておくことで被害にあった際の再建にかかる費用の心配が少なくなり、次の世代までハウスを残していけます。近年の異常気象による自然災害などは、今までと違い何が起きるかわかりません。安心して農業経営を行うために、園芸施設共済に入って有事に備えることが大切だと考えます。

～災害に備えることは大事～

平成26年2月の雪害でハウス1棟が倒壊した経験があり、今回の制度改正をきっかけに復旧費用特約と付保割合追加特約を付けました。ハウスの再建には多額の資金を要するため、新価補償になったことは非常に魅力的なことです。また、小損害不填補1万円特約を付けることで小さな被害も補償されるので、大小さまざまリスクに対応ができ、安心して農業が続けられます。今後いつ発生してもおかしくない異常気象による台風や大雪等に備えるためにも、園芸施設共済に加入しておくことが重要だと思います。



イチゴ27a
藤岡市
中野 達也さん